学校番号	３２０

令和３年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ 改訂版（教育出版）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・聴く、演ずる、創るという音楽の諸活動を通して、実際に音楽そのものを体験することで、音楽における知識と技能を身につけてほしいと考えている。
・学習の到達度は、提出物（ワークシート）と実技テストで評価する。
・音楽の学習は、実際に音楽に接することによりなされるもので、とくに他者とアンサンブルすることにより、より深まっていくものである。
・音楽を生涯にわたって愛好する心情を育ててくれることを期待している。

2　学習の到達目標

音楽の知識や技能を身につけることは必要であるが、さらに表現活動においては、単に楽譜を正確に演奏できるのみならず、能動的に音楽表現ができるように努める。また、音楽作品の鑑賞においては、音楽の響きを味わうのみならず、音楽作品に含まれる精神性や文化的な側面なども聴き取れるように努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	音楽とかかわる仕事・著作権	【歌唱】 ふるさと 海の声 桜の栞	○	○	○		a:生活および社会における音楽と音楽にかかわる人々の役割を理解して、個人や社会にとっての音楽の意義や価値について考え、歌ったり鑑賞したりすることに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【鑑賞】 それぞれの仕事と関連する鑑賞曲の紹介	○			○	a:生活および社会における音楽と音楽にかかわる人々の役割を理解して、個人や社会にとっての音楽の意義や価値について考え、歌ったり鑑賞したりすることに主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、個人や社会にとっての音楽の意義や価値について考え音楽に対する理解を総合的に深めて、主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート
	弾き語りの魅力	【器楽】 卒業写真 想い出がいっぱい	○	○	○		a:ギターのひびきに関心をもち、その持ち味を生かして弾き語りの学習に主体的に取組もうとしている。 b:ギターコードの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	舞台芸術 ～オペラ「トゥーランドット」を味わう～	【鑑賞】 オペラ「トゥーランドット」(プッチーニ)	○			○	a:オペラの特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に関心をもち、楽曲の構造や特徴を把握して、その音楽が醸し出す美しさや豊かさ、味わいなどと結びつけて鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を理解しながら、楽曲の構造や特徴と、その音楽が醸し出す美しさや豊かさ、味わいなどと結びつけて考え、主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート

2学期	プレゼンテーション 世界の音楽めぐり」	【鑑賞】 オルティンドーとボグンドー／ブルース／ヨーデル／密林地帯の人々の多声合唱／スティールパン／ティン・ホイッスル／ウード／イリンバ／アルゼンチン・タンゴ／フラメンコ／ノンアク／ジンジュ／トゥンバン・スンダ／ニャ・ニャック／チベット声明	○			○	a:諸外国の音楽の様相を概観し、それらの文化的・歴史的背景との関連に関心をもって鑑賞することや、プレゼンテーションすることに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を理解しながら、表現上の効果とのかかわりを感じ取って楽曲を解釈し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート
	外国語の語感を生かした歌唱の工夫	【歌唱】 Nina Die Forelle Ici-bas	○	○	○		a:曲想と歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景、イタリア語、ドイツ語、フランス語の特徴とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲のリズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す効果を理解しながら、曲想を歌詞が表す心情、楽曲の背景、イタリア語やドイツ語、フランス語の特徴とかかわらせて音楽表現を工夫し、どのように歌うか表現意図を持っている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景や心情、イタリア語やドイツ語、フランス語の特徴とかかわらせて理解し、イメージをもって音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法を身につけ、個性豊かに表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	現代音楽の技法	【鑑賞】 ソナタとインターリュード(J.ケージ) 24 の前奏曲 Op.53 (N.カプースチン) 涅槃交響曲(黛敏郎)	○			○	a:新しい音楽表現を追及する現代音楽について感心をもち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d:音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、表現上の効果とのかかわりを考え、現代音楽の価値の理解を深めて主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート
	音素材を生かしたアンサンブル	【創作】 音素材の表現効果を生かしながら、構成を工夫して音楽をつくろう	○	○	○		a:音素材の特徴や反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくることに主体的に取り組もうとしている。 b:音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特徴を理解しながら、イメージをもって反復、変化、対照などの構成を考え、どのように音楽をつくるか表現意図をもっている。 c:音素材の表現効果を生かしイメージをもって反復、変化、対照などの構成を考え、工夫した音楽表現をするために必要な技能を身につけ、個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	日本の伝統音楽の楽器編成	【鑑賞】 日本の伝統音楽の楽器編成 日本の音風景	○			○	a:箏、篠笛、三味線などの楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりや、さまざまな伝統音楽の楽器編成に関心をもって、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d:楽器の音色を知覚し、その働きが生み出す特徴や雰囲気を感じ取り、楽器の音色と表現上の効果とのかかわりを理解する。また、さまざまな伝統音楽の楽器編成を文化的・歴史的背景を踏まえて解釈し主体的、創造的に聴いている。	観察 ワークシート
	ファイナルコンサートを開こう！	【歌唱】 【器楽】 【創作】	○	○	○		a:グループで選曲、または創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、表現することに主体的に取り組もうとし、演奏発表会の企画・演出・運営をすることに意欲的である。 b:グループで選曲、または創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、また創作するか表現意図をもっている。 c:創意工夫をした音楽表現をするために、必要な歌唱や楽器、創作の技能を身につけ、個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。